

11月11日 Reflection2 Group2

Week4のリフレクションでは、各研修員から、これまでのJICA研修で行われた講義等から学んだことが発表されました。

初めの研修員が行ったリフレクションでは、日本の学校形態や取り組み、コロナ渦の日本の教育から何を学べるかについて話がありました。また、他の研修員からは日本のESDの取り組みがとても印象に残ったという意見もありました。さらに、参加国同士で教育における課題にどのような共通点があったかということについてまとめている方もいました。また、リフレクションの後には、質疑応答も行われ、Education for All から、ESDへと移行し、Child friendly standards に挑戦することの意味とは何かについて議論が行われました。そこでは、研修員同士でも意見を交わし、吉田先生からもガーナの例などとともに、ブルキナファソも経済的な面だけではなく、社会の情勢の不安定さ(テロなどへの恐怖)といった課題を解決するために取り組む必要がある。そのためにより教育に目を向ける必要があるといったことが述べられました。また、リフレクションの途中では、限られた時間の中で学んだことすべてを発表するのではなく、他者の学びを聞いて、自分とは何が違うか考え、そこから得た新しい発見などを伝えてほしいというプレゼン自体の在り方についても説明が行われました。

